

大腸カメラ検査を受けられる方へ

(胃カメラを同時に検査する場合もこの説明書に準じます)

あなたの検査は、(月 日)です。午前 8 時 30 分までにご来院下さい。

大腸内視鏡検査は、大腸の中を空にして行わなければ正確な検査・診断を受けることが出来ません。安全で正確に検査を行うため、下記の注意事項等をお守り下さい。

— 大腸内視鏡検査の流れ —

検査前日(月 日)



検査の前日から野菜やこんにゃくなど消化の悪いものはできるだけとらないようにして下さい。(右下のリストをご参照下さい)



検査前夜、夕食は8時までに済ませ、その後は絶食して下さい。(水・お茶だけは飲んでもかまいません)9時頃に下剤(錠剤4錠)をコップ1杯以上の水で飲んで下さい。

検査当日(月 日)



検査当日、水・お茶だけは飲んでもかまいません。腸の中をきれいにするため下剤(1錠)を1時間くらいかけて飲んで頂きます(便の性状により追加で飲んで頂く場合もあります)。検査は午後からです。腸がきれいになった方から順番に行います。

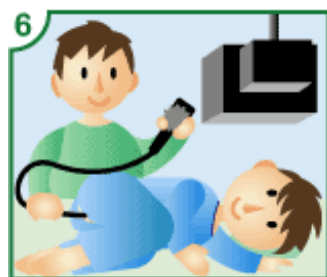
※水またはお茶 500ml を1~2本ご用意下さい。なお、当院売店でも購入可能です。



専用の検査衣に着替えて、検査専用のベッドへ移動します。



鎮静剤使用の方は検査前に、検査時の痛みを和らげる薬(鎮静剤・点滴)を行います。



内視鏡をお尻から入れます。全身の力を抜いてリラックスして下さい。



鎮静剤使用の場合は、点滴がなくなるまでベッドで休んで頂きます。その後検査の結果を説明いたします。

おくすり手帳等は必ずご持参下さい。

注意事項

- 当院ではご希望があれば検査による苦痛を和らげるため軽い鎮静剤を使用いたします(疾患によっては使用できない場合があります)。ご希望された場合は検査終了後も鎮静剤による影響のため、眠気やふらつきが残ることがありますので、当日の車・バイク・自転車の運転は危険ですのでおやめ下さい。検査後は1時間~2時間程度休んでいただいております。(鎮静剤を使用しない場合の検査時間は15~30分程度です)鎮静剤を希望される方は予約時に予めお申し出下さい。
- 血圧・心臓・喘息・神経内科・甲状腺・安定剤・痛み止め・その他医師から決まった時間に薬を飲むように言われている方は、朝6時から7時の間にお薬をお飲み下さい。ただし、糖尿病でインスリン注射・血糖を下げる薬を飲んでいる方は、当日は中止して下さい。検査終了後の注射・内服時間等に関しましては当院看護師にお問合せ下さい。
- 心臓病等で抗血栓薬(血液を固まりにくくする薬=ワーファリン、パナルジン、バイアスピリン、バファリン81、エパデール、プレタール、アンブラグなど)を服用している方は、必ず主治医とご相談下さい。
- 当日、検査の前に担当医師から検査についての説明があります。その際、同意書にサインをして頂きます。お車でご来院の場合、鎮静下(鎮静剤投与)においての検査は実施出来ませんのであらかじめご了承下さい。
- 検査は午後から行いますが、透明に近い水の便にならないと検査が出来ませんので、状況により検査順番が変わります。場合によっては浣腸をかけたりすることにより、検査が夕方近くから始まることもありますのでご容赦願います。
- 下剤を飲むと、何回も便が出るため、下着を汚してしまうことがあります。ご心配な方は下着の替えやパット等をご用意下さい。
- 水またはお茶500mlを1~2本ご用意下さい。なお、当院売店でも購入可能です。
- 検査中ポリープを発見した場合、その場で切除することはありません。日程を調整し、後日入院していただきポリープ切除を行います。なお、ポリープ切除は数日の入院が必要となります。
- ポリープ切除による偶発症としては、稀に出血や穿孔(胃・腸に穴があく)が起こることがあります。出血はポリープ切除後1週間以内に多く認められますので、切除後1週間は激しい運動・飲酒・出張・旅行はしないで下さい。穿孔した場合は外科的手術が必要になる場合があります。

検査の前日から下記のような食品は、腸に残りやすいため、なるべく食べないようにして下さい。

◀ 繊維の多い食品 ▶

たけのこ、ぜんまい、わらび、きのこ類、とうもろこし、にら、ながねぎ、たまねぎ、ほうれん草 など

◀ 種のあるもの ▶

すいか、メロン、ぶどう、いちご、トマト、キウイフルーツ など

◀ 海藻類 ▶

こんぶ・ワカメ・ひじき など

◀ 乳製品・その他 ▶

牛乳、チーズ、ヨーグルト、こんにゃく、白滝、ごま など

検査に関するお問合せ、ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

函館市医師会病院 地域医療連携センター・クローバー
TEL0138-43-4876 (直通)

